



平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



世界に希望を生み出そう

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：白石慎太郎 副会長：高橋建二 幹事：今村佳広 クラブ会報・IT 委員会委員長：松本崇

例会日 毎週木曜日 12:15~13:30
会場 グランドホテル神奈中 2F
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内
連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2024年 3月14日 第 3458 回 週報第 3458 号

本日 3月14日	会員数 64名	対象者 64名	出席者 42(42)名	出席率 65.63%			
前々回 2月29日	会員数 63名	対象者 63名	出席者 40(40)名	出席率 65.49%	MUP 0名	計 40名	修正率 63.49%

第三回情報集会報告会 テーマ「One for all, All for one」 「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」

赤グループ 原田篤志幹事 発表者：東理達也副幹事
出席者：7名

【目的】

・現在クラブで取り組んでいることは、70周年に向けて準備の一年目としての意味をもっている。様々な取り組みを進めるためにもチームワークを強化したいという思いで今回のテーマを選定した。

・ひとつの目的を果たすためには、我々が一枚岩になる必要がある。社会の集まりにおいては、どうしても特定のグループができてしまうものだ。
・例えば、鎌倉クラブは、ガバナーを出すために大会に参加するなど、ひとつになるために動き出しており、うらやましく思う。我々にもきっかけづくりが必要ではないか。

【チームになるために各自行っている取り組み】

・一体感を醸成するための社内イベントをやっている。感謝イベントとして、例えば静岡の社員を、神奈川東京の社員がホストになってもてなすような行事。飲み会、ゲーム等を通じて親睦を深めつつ、各地域の組織の社業に対する理解を深めている。また、社内旅行イベントや、スタジアムで社員運動会をやっている。

・地域の行政等と連携し、地域起こしとして、e-Sportsのイベント支援をやっている。
最近では、市から委託を受け、地元企業対抗戦のイベントをやった。神奈川県内、全国でやっている。国際的にも過熱しており、国際大会等は非常に規模が大きく市場もあるので、専門のグループ会社を作って対応している。また、社内でも、エンゲージメント強化、会社や職場への帰属意識の向上のために、社内親睦イベントでもe-Sports大会をやっている。支店対抗戦などは非常に盛り上がる。

・前職在籍時に、金融系企業の運動会があった。そこで寄付額を競い、会社ごとの順位を決めるイベントがあった。本来が異業種交流であり、プログラムへ参画など、



きっかけは提供されている認識。イベントの意義がもっと理解されれば、参加も進み、結果として相互理解は進むだろう。

・平塚クラブは暖かい。気軽に声をかけられる。入会5年目。役割がなくても参加できるし、率直に楽しい。仕事の利害関係が無い中で取り組むので、奉仕の目的にかなう環境になっている。
社業では、社員のマネジメントを理詰めでやってしまう癖がある。スタッフの交流等においては、トレーナーとオンラインでつないでエクササイズをしたり、ミーティング時には意識的に砕けた話題を盛り込んでいる。

【ロータリーがチームとしてまとまるためにやること】

・例として業界で協同組合がある。営利活動、政治活動は禁止なので、主に組合員の福利厚生が目的であり、同業者内のぶつかりがないようにする機能もある。こういった組織集団で活動するときは、目的設定が難しい。ロータリーの目的は何なのか？目的が明確になれば活動も明確になる。

ライオンズクラブは障害者支援など分かりやすい。汗をかくボランティア活動のほうが当事者に団結力が生まれやすい。当クラブにもヴィジョンがあるが抽象的で具体的に何をやるのか分かりにくい。親睦イベントやスポーツ交流等で会員同士のつながりはできるが、それ以上のもになっているのか。

現在それぞれの委員会で、各イベントは完結してしまっている。本当は全会員が参加意識をもって行うイベントがあるべき。それこそ70周年の実行委員会はそのあるべきだと思う。

・組織を作るときには、率直な意見を言える人を入れて、反対意見も言えるように活性化をしなければいけない。気を遣って思っても意見を言わないような組織は、特定の仲良しグループができてしまい派閥ができるものとなる。

・ひとつのチームになるには、お互いの生業への相互理解がもっとあっても良い。卓話機会は限られている、年数の短い会員は情報量が少ない。ジャストアイデアだが、何らかの持ち回り制でコラム(トピック・社業・プライベート不問?)、ぶち卓話)を提供いただき、媒体と

しては SNS 等が無いので、事務局からのメール周知の末尾等に貼り付けて配信するのはどうか。これらを周知してスマイルの活用に役立てていくのはどうか。

・イベントや委員会等の活動を通じてコミュニケーションを取ることで触れる機会はあるが、知らないから参加しないと、ニワトリタマゴ?にならないだろうかと。思う。

イベントの周知や取りまとめの工程でのコミュニケーションからも関係が作られるのだが、それがこのクラブは足りないと感じる。紙一枚の周知では、イベントに行きたいとは思わない。また、イベントは出来るもの出来ないものがある。スポーツ等は年齢の問題もある。

交流を肌で感じていただく
(野球・サッカーなどのスポーツ交流、バーベキューなどでの懇親会などなど)

【まとめ】

○他クラブと比べると平塚ロータリークラブビジョン声明の具体的優先事項の1~3はよくできていると思います。国際貢献事業を行い、世界へ出ていきましょう！

橙グループ 山口紀之幹事 発表者：山口紀之幹事

出席者：8名

Q: テーマに基づき、ひとつの目的に向かっていけるチーム(クラブ)になるためにはどのようなことが必要でしょうか？



A: 色々な事業に出席、参加すること。ロータリーの時間を作ることで、自分の中でペースを作ること。

A: 参加しなければ何も生まれない。横のつながりや経営者同士の話しは参加しなければわからない。自分の仕事をしっかりやることで社会への奉仕につながっている

A: 中期的な計画をつくり共有する。

A: 継続して参加する事でつながりが生まれ、まとまる。

A: 楽しい事を皆がやる事で一つになりやすい。

A: 参加するきっかけが大事、役職に就いてみる。

A: 参加して決まった席ばかりにせず、席をまわり様々な方と交流する。

橙チームでは参加しなければ何も始まらないという意見が多かったです。参加して様々な方との交流することでコミュニティが徐々に大きくなりチームとして一つになれるのではないかと思います。

また、計画や事業の目的が楽しく、共有しやすい物であれば一つになりやすいのかと感じました。ロータリーでの活動、出会いを大切に、楽しんでいけるようしていきましょう。以上、橙グループの発表です。

結びに開催場所の MAREYUHIGAOKA さんは清水孝一さんのお店です。甥っ子さんが店長を務められています。ご厚意を頂き、会費以上の美味しい料理で大いに盛り上がった情報集会となりました。橙グループの皆様、ご協力本当にありがとうございました。

黄グループ 又城雅弘幹事 発表者：又城雅弘幹事

出席者：6名

2023-2024 年度 第3回クラブ協議会の黄色グループ幹事を仰せつかりました又城です、よろしくお願いいたします。

今回の情報集会は先週の金曜日に今村幹事のお店「若むらさき」にて執り行われました。メンバーは常盤さん、柏手さん、江藤さん、元吉さん、葛西さん、嶋田さん、吉野さんの計8名でした。



テーマの「one for all, All for one」について意見を求めたところクラブとしての大きい事業は「イト ポリオ」、「米山奨学金」、「交換留学生」等があり地域に根差した事業としては「青少年マラソン大会」や「巣箱作り」があります、これらに加え最近よく耳にする「子ども食堂」に協力をしたらどうかという意見が出ました。

身近で大切なところでは次年度のIMや70周年に向けて一致団結して取り組んで行こうと言う意見も多かったです。テーマの「one for all, All for one」とはラグビーでよく使われる言葉ですがラグビーのルールではパスは前ではなく後ろの者に出さなくてははいけません、これはクラブに於いても同様に考えて若い人にドンドンと繋いで行ければクラブの活性化に繋がるのではないかと思います。

まとめと致しましては、「one for all, All for one」このラグビー用語にちなみ「誰一人、取り残さない 皆 平等」という考え方を念頭に置き充実した、意義のある活動に繋げて行ければ良いのではないかと思います。

以上、手短にはなりますが黄色グループの発表とさせていただきます。

緑グループ 平井敬規幹事 発表者：平井敬規幹事

出席者：10名

緑チームは3月8日金曜日、明石町竹葉別邸にて6名の参加で開催しました。出席者は私以外全員会長幹事経験者でとてもやりやすかったです。竹葉の季節の料理と笹尾会員からのキンメの煮付けの差し入れで大変有意義な時間でした。



一人はみんなの為に みんなは一つの目的のためにと。というテーマでしたが、今回の出席者でどんな展開になるか纏まるかでは心配ではありませんでした。

さて本題です。一つの目的とはなんだというところでは、ロータリーの目的ではないかという意見が出ました

奉仕などもあるが、親睦がロータリーの大きな目的の一つだろうということから話が展開しました。

一人がみんなの為は、ロータリーの大きな目的の一つである親睦を深めるために、まずは例会に出席する。事業に出席する。仲間同士の内外を知り、コミュニケーションを図るといった意見がありました。自ら挨拶して出席することもみんなの為になる。また、先輩たちの苦労話を知ることで、いろいろな歴史の中で今の平塚クラブがあることを知ることも大切だと感じました。例えば杉山さんの入会から片野さんの入会まで7年間新会員がいなかったため、同じ委員長を何年もやったり親睦委員会でサンタを何回着たかわからない。受付のバッチの位置が変わらなかったというお話がありました。もっとたくさんのご苦労があったと想像できます。会員同士の気持ちを知ることによって自分がクラブの中でどうするかを考えられるのではないかと思います。また、最低限、欠席の連絡をすとか、役がある時だけ出席するのではなく、常に出席を心がけることもみんなの為になるのではないのでしょうか？

みんなが一つの目的のためにでは、家族例会で家族、子供を連れてくるのが一つになりやすいのではないかと思います。先輩たちは子供が大きくなってしまったから、若手の会員の家族に来てもらいたいということです。若い人の家族が出席してもらえる企画があるといい、また、花巻ロータリーのように婦人部会があるのもいいという意見もありました。また、70周年を迎え、事業を具体的に会員から提案してもらうなど、目的別のプロジェクトチームを委員会以外でチームを作ったかどうか、などみんなが参加しやすい企画や事業を行ったり、参加したくなる例会の卓話なども必要ではないかという話もありました。

様々な意見が活発に出て、時間の経過もあっという間でした。私が当初心配したことが嘘のようでした。まさにみんなが一つの目的のために一つになった情報集会でした。

青グループ 瀬尾光俊幹事 発表者：瀬尾光俊幹事 出席者：4名

○テーマが抽象的でどこから議論すべきか悩ましいが、ひとつの目的に向かっていく。チーム(クラブ)になるには、「クラブの活性化」が必要との意見があり議論開始。



○まずは例会の出席率の向上を図るため以下のような意見があった。

- ・「月間目標」を掲げる。(例) 会員増強の為の情報収集、出席率目標の設定等
- ・夜間例会の開催数増加 先日の夜間合同例会のように、夜ならば参加できる会員も多数在籍している。月4回の内、1回は必ず夜間例会でも良いのでは？
- ・夜間例会になるとお酒の提供で経費がかさむが、飲みたい人は個別支払いで対応。

・長期間欠席となっている会員の中には、間が空いてしまい出席し辛くなっているかもしれない。改めて直接声をかけてあげる事で、出席し易くなるのでは。

○委員会の充実、親睦を深める行事の増加

- ・委員会は委員長が一人でやっている印象が強い。委員メンバーの活躍の場を提供する。
- ・ロータリー活動は、会員相互の親睦が図れる事が大事な魅力のひとつ。親睦が深まれば、ロータリー活動の様々な取り組みにも良い影響が出てくるのではないのでしょうか。

紫グループ 佐野正敏幹事 発表者：佐野正敏幹事 出席者：7名

●みんなの話しを聞いて、同意を取っていく。

●みんなの話しを聞いて、同意を取っていく。

●策定されているビジョンに附随する具体的行動プランを作成し、それをみんなでしっかりと共有する。



●メンバーで話し合いを行い、目的や目標を明確にし、メンバーで共有することで同じベクトルをもって進んでいくことが大切。
→基礎ベースとして、会員ひとり一人の同一の共有認識が必要ではないか？という意見が多くあった。

～ここから様々な意見～

●みんな一緒に進んでいくことは難しい。例えば共通の敵・ライバルを作ってみてはどうか？ 共通の敵・ライバルを作ること(もしくは意識する)によって同じ目的に向かっていくのではないか。例えば他のロータリーより会員数が多いとか、目的意識として。

●ロータリーのひとつの目標として、元々個々の職業奉仕であることから無理な目標ではなくて。元々の個人の能力が高い認識があるので、通常の100%の力に少し力を加え、例えば皆さん個々のポテンシャルを120%に引き上げ、ひとつの目標に対しコアになる人を中心に学びながら、みんなで支えていけばいいのではないかと。新陳代謝も必要。

●鈴木会員のアンダーウェアにベルマーレのシャツを着用されていたこともあり、例えば私達が共通のユニフォーム、もしくはスカーフ、バッジなど、統一のアイテムを着用してもいいのではないかと。私達の例会時付けているロータリー全体のバッジではなく、平塚ロータリーの同じ仲間意識として。

●現在、あまり纏まっているようには思えない。殆どの場合、委員会の委員長しか動いていない場合が多い。そうすると委員長の負担が大きい。また、委員長になっても自分より先輩の方に対し頼みづらいこともある。楽しい委員会活動にしなければならないと思っている中

委員会報告

○社会奉仕委員会 馬上委員長

来月4月27日土曜日に第48回平塚市緑化まつりが開催されます。ロータリークラブは巣箱作り教室を開催致します。後日、皆様に正式な通知をお送りしますので、ご参加の程、宜しくお願い申し上げます。

第54回少年少女マラソン大会

2024年(令和6年)3月2日(土)、レモンガスタジアム平塚と総合公園内走路にて「第54回少年少女マラソン大会」が開催されました。天気は前日までの雨が上がり当日は曇りで肌寒い一日でした。

エントリーは約230名、平塚市在住在学の小学5、6年生と中学1、2、3年生で小学生は2キロ、中学生が3キロを全力で駆け抜けます。連続優勝を目指す選手や自己ベスト更新を狙う選手など各自の目標を持って今日まで調整してきたことでしょう。早々に受付を済ませて念入りな準備をしている青少年たちの姿がとても眩しく輝いて見えました。

平塚ロータリークラブと平塚市教育委員会の主催で54年を迎えた大会開会式には平塚市落合市長、当クラブ白石会長、ご来賓や大会関係者と第13回・14回の優勝者であり元日本女子陸上選手の小幡佳代子氏にご挨拶いただきました。選手宣誓は男女とも6年生で前年の優勝者です。緊張しながらも息のあった元気な宣誓でした。地元の東海大学陸上競技部4名の学生には準備体操や競技コース上での先導役と最後尾役を手伝っていただきました。

競技中は走路上の13箇所では紅白の旗を持った陸上競技協会と当クラブのメンバー26名が待機しスタートから2時間ほど園内走路の安全を見守りました。寒い中で交通整理して下さった役員の皆様お疲れ様です、ご協力ありがとうございました。

表彰式では昨年と同じく「小幡佳代子杯」として小学5年生の男女優勝者に特別表彰のトロフィーが渡されました。また各部門表彰では1位から8位までメダル授与と表彰状が贈られました。ずっしりと重厚感があるメダルでしたが、と同時に54年前の創設時からマラソンを通じて青少年の健全な心身の育成と体力向上を図る目的で引き継がれて来た諸先輩方の思いも感じました。平塚市少年少女マラソン大会自体が当クラブにとってのマラソン行事になっており、このバトンを次年度第55回へしっかり渡したいと思っております。関係者皆様のご理解とご協力で深く感謝申し上げます。

青少年委員会 青山紀美代

で、委員会に所属していることを再度会員に認知してもらう必要があるのではないか？委員会メンバー全員で委員会活動をしていく必要があると感じる。そのためには、年度初めはもちろん、期中も委員会を開催し、委員会活動について目的や目標、情報共有し委員会メンバー全員で活動していく。一番小さいまとまりである委員会から改革しないとイケない。

●例会の際、自由席だと、毎回同じメンバーが同じテーブルにまとまっている傾向がある。もう少し違う会員同士の席次にして、多くの会員と話が出来るようにするなどいいのではないかな？過去には出席委員会で2～3か月ごとに会員の干支や、職種、入会年度等で席次を組んだりして、会員同士がより親睦を深められるように工夫をしていたと聞きました。

●今のビジョン声明は綱領的な意味であって、中長期ビジョンを策定しみんなで同じ方向を向いていく必要がある。

●周年式典へは、担当委員会、準備委員会が一年前より準備を行う。過去には平塚の海を構想した事業があった、今海沿いの再開発が現実的に行われていることから、会員が夢を想像できるような事業プランを考えてみてもいいのではないかな？
→これまでの話しを踏まえ、時代背景に合わせ、色々な物事、仕組みを変えていく必要がある。

●平塚ロータリークラブは、各々が同時に様々な異なる団体に属していたり、その経験がある方の多い集まりでもある。平塚ロータリークラブとしての活動は、当たり前のことですが、あくまでもロータリークラブとして、また一人一人がロータリアンとして集まっていることに意味があり、会員全員でクラブをより良く作り上げていくものだと思います。活動や運営に際し、風通しの良い状態を意識し、無責任な言動や、噂話、行動はロータリアンとして慎しみ、各々が先ず、ロータリアンだという認識をもち、それぞれの団体や経験で得た知識や情報を出し合い、共有、行動をしていくことで、『一人はみんなの為に、みんなは1つの目的のために』に繋げて行きたい。

●情報集会の幹事は、重鎮の会員の方が幹事をやった方が、出席率は上がるのではないかな？

●会長経験者の経験談含め、色々な場面で情報など共有・提供して欲しい？

幹事報告

◎吉野教育長よりお礼状を頂きました

3/2(土)に行われました第54回平塚市少年少女マラソン大会のお礼状を市教育委員会の吉野教育長より頂きました。当日は天候も良く、多くの会員にご協力いただき、ありがとうございました。



プライバシー加工をしています



白石会長から入賞者にメダル授与



元日本女子陸上選手の
小幡佳代子氏



END POLIO募金をしました

今週のお祝い

誕生日祝い・・・米山範明会員 (3/7にお渡し済み)
結婚祝い・・・鈴木忠治会員

メイクアップ (MUP) 0名

本日のスマイル 23名+6グループ

ゲスト 0名

ビジター 0名

卓話・行事予定

3月21日(木) NPO 法人未来経験プロジェクト
理事 堤園子様

市内例会変更 現在ございません


 シンガポールで希望をわかち合おう
2024年ロータリー国際大会
 2024年5月25日～29日
 シンガポール
 世界と希望をわかち合うため、
 2024年5月25日～29日にシンガポールで開催される国際大会にご参加ください。
 *3月31日までに登録して、事前割引料金をご利用ください。

◎興奮が待つシンガポールへ

ロータリー国際大会は、友情と学びが融合し、インスピレーションが生まれる舞台。ロータリーで最大のイベント、国際大会が開催されるシンガポールで、世界中から集う「行動人」と交流しましょう。

国際大会公式ホームページより

